

.....

.....

.....

1

10. 事例体験者の属性（回答者は当事者A）

○当事者 A	年齢[31]歳、 勤続年数[9]年、 現場経験年数[8] 年、 階級[消防士]、 同様の活動 [1 年に数度]、 任務 [機関員]
○当事者 B	年齢[26]歳、 勤続年数[4]年、 現場経験年数[3]年、 階級[消防士]、 同様の活動 [初めて]、 任務 [その他：機関員養成中]
○当事者 C	年齢[33]歳、 勤続年数[11]年、 現場経験年数[7]年、 階級[消防司令補]、 同様の活動 [初めて]、 任務 [車長]
その他 (当事者が 4 人以上の場合)	

11. 事例発生経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過 1	当事者 A、B、C が	機関員養成のため、揚水訓練を実施した。	
経過 2	当事者 B が	簡易水槽に水を張り、吸管にて揚水。	
経過 3	当事者 A が	筒先員となり、簡易水槽に戻すよう放水していた。	
経過 4	当事者 C が	安全管理者として、監督・指導をしていた。	
経過 5	当事者 A、B、C が	揚水訓練の反復を行っていた。	
経過 6	当事者 B が	ポンプ操作中、筒先員がふらつく。	
経過 7	当事者 B が	放水圧力を下げようと、ポンプスロットルを回したが逆に回してしまった。	
経過 8	当事者 A が	放水圧力が急激に上昇し、管そうが跳ね上がり右眼付近に当たった。	
経過 9	当事者 A が	管そうが当たった拍子に管そうを保持できず、反動力で管そうが地面に叩きつける。	
経過 10	当事者 A、B、C が	筒先員が負傷したことにより訓練の中止。	

【その事例発生時の状況について】

● ●

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

体力、反射神経等身体能力が劣っていた。危険情報を把握、予見できなかった。危険事象の対応方法を知らなかった。集中力、注意力がなかった。避難・退避がうまくいかなかった。他隊(員)との連携活動がうまくいかなかった。他隊(員)から適切な注意を受けられなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・ 1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
----------------------------	-----

・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	はい
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	はい

○その他

l. その他の理由があった。

いいえ

【事故発生後の取り組みについて】

.....

○注意力欠如、焦り等の対策について

個人・・・以前にも増し危険予知、事故防止について意識するようになった。
署所・・・事故防止に関する委員会を開催し、安全対策、事故防止について議論が交わされた。

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

現場状況図

